

浜岡原発 すぐ止めて!

4・10東京一 市民集会と デモ

～切迫する東海地震・放射能は首都圏直撃・止めても大余裕の中部電力～

日時 **4月10日(日)** 場所 **芝公園 23号地**

(都営地下鉄三田線 御成門駅下車 徒歩5分)

集合 **12時45分** 集会開始 **1時** デモ出発 **2時**

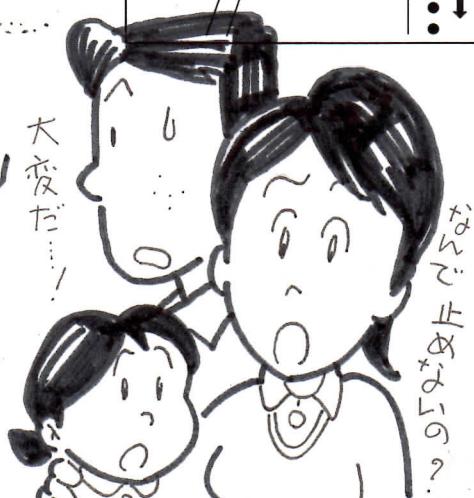
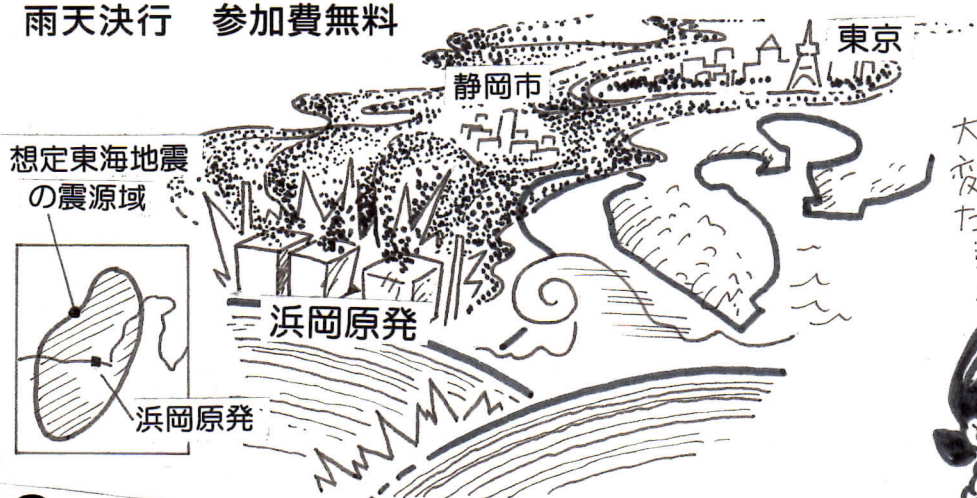
デモコース/経済産業省別館前・中部電力東京支社前・東電本社前・銀座数寄屋橋交差点(ソニービル前)・東京駅前・常磐橋公園で流れ解散(東京駅先)
雨天決行 参加費無料

(都営地下鉄三田線)

御成門駅

23号地

芝公園駅



3月11日、マグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震が発生しました。比較的に小さな揺れと津波対策の欠陥により福島第一原発が原発震災を起し、危機的状態は消えず、現在も放射能を空と海へ出し続けています。

静岡県御前崎市に中部電力の浜岡原発があり、現在も4号・5号機が運転中で3号機が定期検査で停止中です(1・2号機は廃炉を決定)。この浜岡原発は東北地方太平洋沖地震の影響でさらに切迫したと考えられる、巨大な想定東海地震の震源域の真上に建っているため(震源域は静岡県の陸域にまで広がっている)、福島原発よりはるかに大きな揺れに襲われます。堤防は砂丘!で、

中電は数年後に防波壁を建設と発表しましたが、耐えられない事を認めたのと同然です。

東海地震・東南海地震・南海地震の三連動型の可能性も十分あります。東海地方の風向は年間の7~8割が東向きですから、放射能は首都圏を半日で直撃することになります。

浜岡原発を止めて、東日本への電力融通の限界である100万kwを差し引いても、中部電力は真夏でも約400万kwの設備余裕があります。地震は止められないけれど、原発は止められます。

今こそ、浜岡原発すぐ止めて!

集会

★池田香代子さん(ドイツ文学翻訳家) ■塚本 千代子さん(浜岡原発を考える静岡ネットワーク)
■向井 雪子さん(チェルノブイリ子ども基金) ■阪上武さん(浜岡原発差止裁判原告/福島老朽原発を考える会)

〈司会〉 ●向井 雪子(チェルノブイリ子ども基金)

●高木 章次(プルトニウムなんていらぬよ!東京/浜岡原発差止裁判原告)

主催 浜岡原発すぐ止めて! 実行委員会

4/6版

問い合わせ先 TEL 03-5225-7213 FAX 03-5225-7214 共同事務所 AIR内

呼びかけ団体 浜岡原発を考える静岡ネットワーク/ふえみん婦人民主クラブ/日本消費者連盟/チェルノブイリ子ども基金/原子力資料情報室/プルトニウムなんていらぬよ!東京/福島老朽原発を考える会/チェルノブイリと日本の未来を考える会/たんぼぼ舎/大地を守る会/日本山妙法寺/原子力行政を問い直す宗教者の会/東京電力と共に脱原発をめざす会(4/6現在)